



祭典合唱団ニュース

ひろしま

NO.9

2021年10月17日

発責：実行委員会

大切な言葉を届けるために…

本番指揮者三上先生のレッスン

秋らしく晴れ渡ったこの日、緊急事態宣言が明けて、前回はZOOM配信でのレッスンでしたが、中央公民館4Fホールに50人以上の合唱団員が集まりリアルでのレッスンを受けました。



三上和伸先生

初めに10月4日付の「うたごえ新聞」に大きく取り上げられたご自身のインタビュー記事を「あんなに大きな記事で先生が示しておられます。」



三好敬子先生

「ひろしまへ」のレッスンでは、合唱は言葉を届ける意識を持つことが大事だが、特にコロナ感染の関係からマスクをして歌うため、言葉が伝わり難いので、口

を縦にあげて、一音一音にバネがあつて伸ばすイメージで歌うこと、長く伸ばすところを抜かず拍をキチンと数えて歌う、休符への注意など、ご自身が歌い手でもある先生から、実践的で丁寧な指導がありました。

「こわしてはいけない」は、これこそで大事なものが一つ一つ数え上げられて、その最後に憲法がでてくる。言葉の重要性和テンションを下げないで憲法につないでゆく歌い方が大事だとの指導がされました。

「抱きしめよう」は組曲の終曲で「ソング」としても歌える素敵なメロディーなのだがい流さないで欲しいこと、この曲でも言葉を繊細に大事に考えながら歌うことの重要性が話されました。

「抱きしめよう」は組曲の終曲で「ソング」としても歌える素敵なメロディーなのだがい流さないで欲しいこと、この曲でも言葉を繊細に大事に考えながら歌うことの重要性が話されました。

合唱団員 紹介コーナー

私も歌ってます
よろしくおしま〜す!

木下千重美さん (S)



視力障害のハンディキャップを物ともせず楽しく歌っておられる木下さんの登場です。うたごえ祭典成功のために少しでも役に立ちたいとの思いから、普段通っている歯医者さんに勇気を出して広告の掲載をお願いしましたら、広告を掲載してもらえることになりました、と嬉しそうに報告してくださいました。

子どもの頃から歌が好きで、アニメソングの堀江美津子さんの「心のうた」などを聴き、歌手にあこがれていました。大人になってからも歌声喫茶「ムシカ」「十字屋」によく行きました。

合唱との出会いは、子どものピアノの先生と市民合唱団「第九」に参加した時からです。混声合唱が楽しかったので、どこか歌えるところを探していたところ、「生協ひろしま虹のコーラス」と出会い、仲間に入れてもらいました。ピースウェーブ合唱団がカンタータ「土の歌」全曲演奏をしたときにも参加しました。そのあとしばらくして広島合唱団に入って現在に至っています。

歌を覚える時は、メロディーと歌詞が正しければそれを集中して聴いて暗譜するようにしています。ですから音取りのCDはとても有難いんですよ。広島合唱団の吉田さんをはじめ、たくさんの方のサポートのおかげで私のうたごえ人生が続けられていることに感謝しています。



まだ完成した合唱になってはいませんが、集まって合唱できることの喜びをかみしめながら、しっかり復習、予習をして本番を迎えたいと思います。